

2026 年度 総合型選抜（9 月募集）【課題型（プレゼンテーション）】

人間共生学部 コミュニケーション学科

1. プレゼンテーション課題

世界中の観光地でオーバーツーリズム（overtourism）が問題になっています。日本国内では、鎌倉市（江ノ島電鉄鎌倉高校前駅の近くにある踏切）や京都市（東山地区など）の事例が有名です。

オーバーツーリズムに関する資料を調べて、課題(1)および課題(2)についてまとめましょう。

課題(1) オーバーツーリズムとはどのような現象のことか。

課題(2) オーバーツーリズムの原因

自分が実際に訪れたことのある観光地について、課題(3)および課題(4)について考察しましょう。

課題(3) その観光地で実際に発生している（または、近い将来、発生すると予見される）

オーバーツーリズムを原因とする問題

課題(4) その観光地でのオーバーツーリズムの問題を解消または緩和させるための解決策

2. 実施要領および諸注意

■課題に関する成果物の作成方法

- ・事前に PowerPoint でプレゼンテーション資料を作成してください。
- ・スライドは、表紙を含めて 10 スライド以内とします。
- ・出願時に、作成した PowerPoint のスライドデータを、A4 用紙を縦向きにして、片面 1 ページに 2 スライドずつ印刷したものを 2 部、その他の出願書類と一緒に提出してください。

■プレゼンテーション方法

- ・プレゼンテーションの時間は 8 分間、その後、口頭試問と面接を 7 分間で行います。
- ・プレゼンテーションが時間超過した場合は、途中で終了となります。
- ・作成した PowerPoint ファイルを USB メモリに入れて、試験当日に持参してください。試験会場に PC を準備しますので、自分で USB メモリからファイルを開き、発表してください。全国会場での受験の場合は、画面共有の操作も自分で行ってください。

■その他、諸注意

- ・課題(1)および(2)は、自分の考えを述べるのではなく、資料を調べて、まとめること。出典の明記が必須。
- ・課題(3)は、可能な範囲で統計データや報道記事を調べ、そこから考察すること。
- ・課題(4)は、既に実施されている対策を発表するだけでなく、自分なりの提案を行うこと。
- ・出願時の提出物（プレゼンテーション用スライドの印刷物）に修正を加えた場合は、プレゼンテーションの冒頭で、審査員に申し出てください。表やグラフの差替えなど大きな修正が行われた場合は減点対象となります。

3. 評価の視点

資料については、課題を十分に理解しているか、様々な角度から十分な調査を行い、使用した資料の出典を明記しているか、誤字脱字なく文体に一貫性があり、事前提出資料と当日提示資料が同一であるか、自分の意見をわかりやすく説明しているか、を評価する。

発表については、時間が 6 分以上 8 分以内であるか、聴き手を意識したわかりやすい発表か、を評価する。

口頭試問では、質問の意味を正確に理解して的確かつスムーズに回答できているか、を評価する。

【指定書式の有無、作成方法】

指定書式の有無	☐ 有 ☒ 無（書式指定なし）
課題の成果物 作成方法	☐ ワードプロソフトのみ ☒ PowerPoint のみ ☐ 手書きのみ ☐ どちらでも可

【出願時に提出するもの】

提出物の有無、提出方法	☒ 有 （ PowerPoint で作成したスライド ） 用紙サイズ： <u> A4 </u> 部数： <u> 2 </u> ※複数部提出の場合、コピーでの提出可否： ☒ 可 ☐ 無
-------------	---

【試験当日に持参するもの】

（要否欄： 必：必ず持参するもの ○：持参して使用が可能なもの ×：使用が不可なもの —：該当なし）

内容	要否	詳細・その他備考
①課題に関する成果物 (要約シート／課題で取り組んだパワー ポイント等をプリントアウトしたも の)	○	必要と考えた場合は持参することができます。
②USB メモリの持参	必	指定されたファイル形式の資料（電子ファイル）の みを入れたもの。 ファイル名は「KGU_26 課題」とすること。 ※USB メモリ（タイプA）の中は発表に使用するファ イルを 1 つだけ保存すること。複数のファイルに分 割したり、発表に不要なファイルを保存したりしな いこと。

【その他】

プレゼンテーションの際、 パワーポイント発表者ツールの使用可否 (発表でパワーポイントを使用する場合のみ)	使用可能
プレゼンテーション実施にあたり 大学側が準備するもの	プロジェクター、スクリーン、PC、マウス

※大学で用意する PC の OS は Windows10、ソフトは Office2019 が使用可能です。

※「出願時に提出したものと同じものを試験当日に持参すること」となっている場合、出願後に、作成した資料
内容の変更は行わないでください。

※準備する資料の形式、条件等の詳細は「2. 実施要領および諸注意」も参照してください。

※課題の中で許可されているもの以外は、試験時間中に使用することはできません。